

7. おわりに

本事業は、当協会（一般社団法人福岡県情報サービス産業協会：FISA）の事業目的のひとつの「情報サービス関連の調査研究」の一環として取り組んだものです。

事業実施にあたっては、会員企業・団体から有志を募り、プロジェクトチームを結成しました（メンバー表は巻末参照）。正式受託（1月16日）から3か月未満の短期間の事業であったと同時に、新しい分野である「IoT関連」は、当然ながら前例が少なく、試行錯誤の中で事業を進めていくしかありませんでした。

ヒアリング先（事例）は、プロジェクトメンバーや人的つながりの情報からピックアップしました。なおかつ、他のIoT事例資料となるべく重複しないようにも留意しました。

ヒアリングは、プロジェクトメンバー2名1組を基本として、対象企業・団体（地元九州から東名阪、遠くは北海道・福井と広域）に訪問させていただきました。

最初の出会いは直接訪問ですが、その後は遠方であっても、情報提供・メンバー間の意見交換等はSNSなどで代替可能できる時代です。プロジェクトメンバー全員の積極的な行動とSNSなどの活用で、短期間での調査研究事業を完遂することができました。

本事業を通じて、リアルな場で多くの人々が出会い、多くのことに気づきを得たことで、目的の一つであるIoTという新しい技術領域で、社会・経済を変革していくことが可能になっていくという期待感が大きくなりました。

本事業の成果を次に活かすべく、4月以降も、本事例集の内容紹介を中心に活動を積極的かつ継続的に進めて参ります。具体的には、報告会を始め、ヒアリング調査企業・団体様をお招きしてのセミナー・勉強会などの開催やIoT関連の技術やサービスの研修会を開催します。

このような活動を継続実施することで、FISA会員企業の新たな顧客創造・新たなビジネスチャンスの創出などができます。また、メーカー依存型から脱却し、県内でユーザ企業とのビジネスマッチングができることで、「福岡発のIoT活用モデル」でさらなる成長につながっていくものと期待しております。

最後に、お忙しい中ヒアリングを快くお引き受けいただいた先進事例提供先の皆様、ヒアリング先を多数ご紹介いただいたモバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）様、寄稿いただいた各分野の専門家の方々、本事業を企画・発注いただいた福岡県 Ruby・コンテンツビジネス振興会議様、皆様に心から御礼申し上げます。

プロジェクトメンバーからの編集後記

◆ 気づきや学びなど

- ・ 今までIoTは、情報としての認識程度でしたが、先進事例のヒアリングに参加して想像以上に実現化が進んでいる事に衝撃を受けました。
- ・ 何よりも感じたことは、IoTプレイヤーといえども根本にあるのは「世の中を何とかしたい」という熱い思いだということでした。

IoTだけではなくITですら、「目的達成のための手段でしかない」ということを再確認した次第です。

- ・ IoT がいつごろから取りざたされているのか、今まで IoT に無頓着であった私には知る由もありませんでした。昨年あたりからそのワードが飛び交い始めた所に、本事業への呼びかけでした。私はそれに応じ、初めて IoT を身近に捉えることとなりました。
- ・ 先行事例の取材先のホームページや関連情報を拝見して、意外にも身近なところで取組が進んでいることに驚きました。
- ・ IoT は固有で専用開発された技術で、専門家が対応するイメージを持っていました。個々に見てみると、センサーなどのハードウェア技術・電子機器への電力供給技術・インターネット等の通信技術・データ蓄積・Web などを活用した情報配信・それを利用するモバイルデバイス等等、各々の機能が組み合わさり繋がったものが IoT みたいだとぼんやりとイメージが湧いてきました。今回、ユーザ企業 2 社を訪問し、話をお聞きしました。どちらも数年前から IoT 等の先進技術を活用し、実務を行われていました。
- ・ 正直、我々のかなり先を行かれている気がしました。昨今「IoT」という言葉が世間を騒がせていますが、既にそれは特別なものではなく、ユーザ企業の課題を解決するソリューションの一部であることに、改めて気づきました。今後も技術の進歩は想像を超えて進展するので、我々 IT 企業は、常に新しい技術にアンテナを立てつつ、技術を補完するプレイヤーと協業しながら、顧客の課題解決のための最適なソリューションを提供していかなければならないと感じました。

◆ 出会いなど

- ・ 今回の事業を通じて、多くの同業界の方々との交流の機会を得ることができました。特に、ヒアリング先の社長様には、気さくに事例を説明いただきました。中でも、何事にも実践してから考える、非常にスピード感のある進め方に刺激を受けました。
- ・ ヒアリング先の社長様並びに同社をご紹介いただいた社長様も、介護の分野に問題点を感じ、熱い意気を持ち、一方では冷静に活動しておられました。介護の問題は、地方でも変わりなくむしろ深刻です。今回出会った方々のような熱い想いは、地方にも必要だと感じました。
- ・ 今回の取材でドローンについてお話を伺いました。ドローンと言えば、飛ばしてはいけないところに飛ばしてニュースに取り上げられる事がしばしばあり、良い印象を持っていませんでした。ところが、事例をお聞きしたことで、印象がガラリと変わりました。

◆ 今後の自社ビジネスにどう活かすか

- ・ 自社の新しいビジネスモデルの機会として活用していきたいと思います。
- ・ 介護分野、医療分野への協業を第一に考えます。
- ・ 事務所内 IoT で、色々発想して提案してみたいと思います。
- ・ IoT のニーズを調べてみたいと思います。

プロジェクトメンバー

※平成 29 年 3 月 31 日現在

役 割	氏 名	企業・団体名	役職名
委員長	森 俊英	グローバルブレインズ(株)	代表取締役社長
副委員長	柴田 健二	麻生教育サービス(株)	取締役部長
特別メンバー	吉井 和明	弁護士法人 ALAW&GOODLOOP	弁護士
メンバ (50 音順)	石井 宏昌	NPO 法人 軽量 Ruby フォーラム	事務局次長
メンバー	石川 浩一	(株)テクノスクエア	代表取締役
メンバー	内田 圭亮	(株)シティアスコム	営業推進部セキュリティ担当 課長代理
メンバー	河野 智遵	(株)シティアスコム	営業本部営業企画部地域共生推進室 課長代理
メンバー	庄司 晃	(株)インフォメックス	公共事業推進担当
メンバー	高野 桂護	(株)システムフォレスト	執行役員
メンバー	滝口 広大	九州総合サービス(株)	総務部情報企画課
メンバー	田中 幸一	(株)ソルネット	第一イノベーション推進部
メンバー	鶴田 浩典	日本システムスタディ(株)	IT イノベーション部 部長
メンバー	時里 啓二	(株)テクノ・カルチャー・システム	ソリューションビジネス部 副部長
メンバー	富岡 広幸	(株)インフォメックス	IT サービス部 副部門長
メンバー	富山 孝治	(株)システムフォレスト	代表取締役
メンバー	中山 英俊	九電ビジネスソリューションズ(株)	ソリューション営業第 1 部
メンバー	松永 圭史	(株)システムフォレスト	クラウドインテグレーショングループ lot コンサルタント
メンバー	渡瀬 浩之	(株)テクノ・カルチャー・システム	金融システム部 専任部長
事務局	秋山 正博	(一社) 福岡県情報サービス産業協会	専務理事

[本資料に関する問合せ先]

一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会

住所：〒814-0001

福岡市早良区百道浜 2 丁目 1 番 2 2 号 福岡 SRP センタービル 3F

Tel：092-832-1344 Fax：092-845-1003

E-mail：fisa-info@fisa.jp URL：http://www.fisa.jp/

[文責]

同協会：ビジネス開発委員長 森 俊英

福岡県 IoT ビジネスモデル先進事例調査業務
報告書

平成 29 年 3 月 31 日

福岡県

委託先：一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会

第 2 版